

警察庁によると、2024年上半期に自宅で死亡しているのが見つかつた一人暮らしの人は3万7227人（暫定値）、このうち約8割の2万8330人が65歳以上の高齢者でした。年齢別では85歳以上が7498人と

最多で、75～79歳が5920人、70～74歳が5635人で、65歳以上が76%を占めています。一方、65歳未満も8826人に上り、30代が512人、20代が431人、15～19歳が

42人。死亡推定から発見までの経過日数は、当日～1日以内が1万4775人で全体の約4割ですが、1か月以上も3936人の約1割で、周囲との交流が乏しいのが現状です。当読売セン

## 高齢者孤独死の状況

ターレでは、配達

時に新聞がたま

つてている場合は声をかけたり、通報したりするなどの見守り活動をしています。近隣とのあいさつコミュニケーションを大切にしましょう。

防犯  
一口メモ